

「フクシ×アートWEEKs 2022」は、障がいと共に生きる人々のアートが、鳥取市中心市街地の商店街に飛び出していく取り組みです。2019年より毎年開催してきた「フクシ×アートWEEK」が、期間を30日間に拡大し「WEEKs」となりました。今年も、異なる切り口の5つの作品展、多様性について考えるフォーラム、マルシェ、映画上映、ワークショップ、その他連携企画など、楽しいプログラムを多数展開します。アートを通じて、いつもの“まち”がいつもと違って見えてくる。この30日間で、障がいと共に生きる人々への理解と、誰もが楽しく暮らせる社会を考えるきっかけになれば幸いです。

フクシ×アートフォーラム

1 セサミストリートと一緒に考える多様性とアート



ジュリアとエルモがやってくる!

10月30日(日) 14:00-16:00 入場無料
鳥取駅前太平線 バード・ハット(鳥取市今町)



アメリカの教育番組「セサミストリート」より、自閉症の特性があるジュリアと、好奇心旺盛なエルモが鳥取にやってくる!多様な豊かな社会の素晴らしさについて、ジュリアやエルモと一緒に話をするステージです。障がいやアートに興味・関心があるけれどなかなか踏み込めない方や、楽しく学びたい親子での参加も大歓迎! MC:山下弥生(FM鳥取)



ジュリア 自閉症の特性がある4歳の女の子
エルモ 好奇心旺盛な3歳半の赤いモンスター
吉田 麻鈴 セサミストリートジャパン合同社マーケティングマネージャー
妹尾 恵依子 アートスペースからふる理事長

フォーラムの様子は後日、YouTube「フクシ×アートWEEK実行委員会」チャンネルで配信します。

YouTube 公開収録無料配信



TM and © 2022 Sesame Workshop

フクシ×マルシェ 鳥取のフクシに触れるマルシェ 10月30日(日) 10:00-16:00 入場無料
鳥取駅前太平線 バード・ハット(鳥取市今町)

鳥取県内の6つの障がい福祉施設が集まる、1日だけのマルシェです。心を込めて作られた食品や雑貨の販売、楽しいワークショップなど、ラインナップからはそれぞれの事業所の個性が見えてきます。

合同会社ふれあい(からあげ、ポテト)、ねっこ作業所(キーホルダーのワークショップ、わたがし)、フルーツショップフェリス(お弁当、スイーツ)、フルール(ミニハーバリウムのワークショップ)、若さくらふれあい作業所(まるごと若桜のおでん)、アートスペースからふる(アートグッズ)



イベント

2 汽水域アートシェアリング2022 11月26日(土)・27日(日)

目の見える／見えない、という互いの世界をアートで繋ぎ、対話する二日間

主催:鳥取大学地域価値創造研究教育機構 共催:鳥取県教育委員会美術館整備局、鳥取県立美術館パートナーズ 特別協力:あいサポート・アートセンター

詳細情報・予約方法は、10月中旬にホームページ・SNS等で公開します。



ギャラリーコンパ@鳥取県立博物館2022 『目の見えない白鳥さん、アートを見にいく』先行上映会・トークショー

視覚を超えたアート共同鑑賞ワークショップ

運営:鳥取大学デザインプロジェクト

11月26日(土) 12:00-14:00 参加費:無料
要事前申込(先着順)

鳥取県立博物館(鳥取市東町2丁目124)

「ギャラリーコンパ」は、視覚障がい者と晴眼者が対話を通してアート体験をシェアする鑑賞ワークショップ。石田陽介・濱田庄司・松尾さちによって、これまで西日本を中心に17年間に亘って活動を続けています。今回は鳥取県立博物館開館50周年記念企画展「すべてみせます!収蔵庫の資料たち」のアート作品を、目の見える・見えないという互いの個性を活かしあい、一緒に鑑賞していきます。



11月27日(日) 定員:各回100名 要事前申込(先着順)、当日対応あり
鳥取県立博物館2階講堂(鳥取市東町2丁目124)

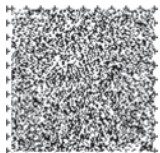
先行上映会[参加費:1,800円(各種割引あり)]
日本語字幕版/10:30-、音声ガイド版/13:15-(107分、上映終了後舞台挨拶あり)
トークショー[無料]15:45-16:45(後日YouTube配信)

トークショー出演者/白鳥建二(全盲の美術鑑賞者・写真家)、三好大輔(映画監督/プロデューサー)、川内有緒(ノンフィクション作家)、石田陽介(鳥取大学 准教授/ギャラリーコンパ主催スタッフ)、MC:山下弥生(FM 鳥取)

「全盲の自分でも、アートを見ることはできるのかもしれない」。話題書籍の映画版であり、「全盲の美術鑑賞者」白鳥建二さんを追った新作ドキュメンタリー映画の字幕版・音声ガイド版を特別に先行上映します。そして、白鳥建二さん、監督の三好大輔さん、原案・共同監督の川内有緒さんを迎えたトークショーも同日に開催します。



©ALPS PICTURES



お問合せ **フクシ×アートWEEK実行委員会**

鳥取市元町101(アートスペースからふる内)

TEL : 0857-35-0191 E-mail : art.colourful.105@ncn-t.net

新型コロナウイルスの感染状況により、鳥取県・鳥取市のガイドライン等に準拠し、人数制限や中止・変更を行う可能性があります。

フクシ×アートWEEKs 2022 の最新情報はこちらから



website

facebook

instagram

スマホアプリ「Uni-Voice」で読み取ることで、ちらしの情報を音声にてお聞きいただけます

わたしたちの“まち”で、
フクシとアートに出会う30日間



WEEKs 2022

10月29日(土)-11月27日(日)

会場:鳥取市中心市街地商店街

植嶋 大輔展「はみだす」

鳥取まちなかウォーキングミュージアム

鳥取県はーとふるアートギャラリー合同展
「はーとをふるわせて2」

映画上映会・トークショー

目の見えない白鳥さん、アートを見にいく

フクシ×アートフォーラム

セサミストリートと一緒に考える多様性とアート

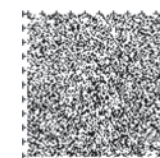
主催 | フクシ×アートWEEK実行委員会(事務局:アートスペースからふる)

実行委員会 | 鳥取市、鳥取県、鳥取市商店街振興組合連合会、鳥取市中心市街地活性化協議会、十人十色、鹿野第二かちみ園

特別協力 | 鳥取県教育委員会美術館整備局、鳥取県立美術館パートナーズ、あいサポート・アートセンター

協賛 | 坂尾画材センター、鳥取市手をつなぐ育成会、鳥取商工会議所、鳥取信用金庫

協力 | 鳥取大学地域価値創造研究教育機構、鶏鳴学園、一般財団法人たんぼの家



スマホアプリ「Uni-Voice」で読み取ることで、ちらしの情報を音声にてお聞きいただけます

TM and © 2022 Sesame Workshop

展示

植嶋 大輔展「はみだす」 力強く鮮やかな、絵画と立体

3

10月29日(土)-11月27日(日)

10:00-18:00 入場無料 WEEKs 2022 特設ギャラリー(鳥取市職人町26)

「フクシマアートWEEKs 2022」のメインビジュアルであり、今年のWEEKsピックアップアーティストである植嶋大輔氏の作品展。素材の表情を捉える力と繊細な色彩感覚、迫力ある作風など、いずれもアーティストとしての実力を強く感じさせます。大作を含む、充実の作品群を紹介します。



植嶋 大輔(うえじま・だいすけ)
1985年生まれ。アートスペースからふる所属アーティスト。鳥取県立看護学校卒業後の2005年より、からふるの前身となるアート教室に通いはじめたことをきっかけに絵の制作を始める。元来の力強い筆致や破ることが好きな本人の個性から、現在の素材選びや制作のスタイルを確立。第55回鳥取市民美術展洋画部門大賞。



展示

鳥取まちなかウォーキングミュージアム

アートを通して見えてくる、わたしたちの“まち”

10月29日(土)-11月27日(日) 参加施設:アートスペースからふる・十人十色・鹿野第二かちみ園

まちなかサテライトギャラリー 商店街のお店の中にアート作品を展示します。それぞれの空間のために選び飾られる作品は、いつも立ち寄るお店の雰囲気を少し変えるかも。もちろん、展示をきっかけにはじめてのお店に足を運んでみるのも◎

- 【開催店舗・営業時間・入場料 ※記載のないものはすべて入場無料です】
- 4 イオン鳥取店 (7:00-23:00、不定休)
- 5 シヤミネ鳥取 (10:00-20:00、不定休)
- 6 丸由百貨店 4F無印良品店内 (10:00-19:00、無休)
- 7 オーガニックスタイル水越屋 (10:00-18:00、水曜・木曜定休)
- 8 鳥取信用金庫本店営業部 (9:00-15:00、土曜・日曜・祝日定休)
- 9 まちバル鳥取 (9:00-19:00、無休)
- 10 cafe SOURCE (11:30-23:00、要オーダー、無休)
- 11 Tottori Mama's (9:00-17:00、不定期に不在の時間あり、土曜・日曜定休)
- 12 絹の館 さーびす (10:00-18:30ただし土日は18:00まで、第2火曜・第1-4水曜定休)
- 13 こむ・わかさ (7:30-17:00、無休)
- 14 山口タンス店 (10:00-18:00、水曜定休)
- 15 Am's (10:00-19:00、無休)

まちなかピクチャーフレーム 商店街のお店のショーウィンドウを利用したアート作品展示です。さながらフィレンツェのヴァザリ回廊のように、ガラスに浮かぶピクチャーフレーム(額縁)でアートを眺めて歩くアーケード通り。 若桜街道商店街・鳥取本通商店街・新鳥取駅前商店街

展示

鳥取県はーとふるアートギャラリー合同展 「はーとをふるわせて2」

16

県内の「推しアーティスト」たち

共催:鳥取県、*あいサポート・アートとっとり祭連携事業

10月29日(土)-11月13日(日) 10:00-18:00 入場無料

ギャラリーからふる(鳥取市元町101 アートスペースからふる2F)

認定ギャラリー運営団体:アートスペースからふる、もみの木福祉会、あかり広場、十人十色 障がいと共に生きるアーティスト達の作品を気軽に鑑賞できる「鳥取県はーとふるアートギャラリー」のアート作品を一堂に展示します。テーマは「2022年の推しアーティスト」。4つの認定ギャラリーが自信を持ってお届けします。

展示

アートクル展

交流から生まれた、アートの芽吹き

協力:一般財団法人たんぼぼの家

11月15日(火)-11月27日(日)

10:00-18:00 入場無料 ギャラリーからふる (鳥取市元町101 アートスペースからふる2F)

参加施設:こども園かける 教育や保育の場に障がいのあるアーティストが出向き、子どもたちと一緒にアート体験を行う活動「アートクル」。奈良県で生まれたこの取り組みが、鳥取県でも行われています。今年参加した園児たちの作品を展示します。

展示

「WEEKのこれまで/WEEKsのこれから」展

17

もっと知ってほしい!「WEEKs」のこと

11月3日(木・祝)-11月23日(水・祝) 10:00-18:00 ※金曜日のみ19:00まで 入場無料

2019年より毎年行われている「フクシマアートWEEK」のこれまでの歩みと、「フクシマアートWEEKs 2022」の概要がわかるパネル展示。過去に行われたWEBフォーラムの映像も上映します。

告知

OPENNESS!
鳥取県立美術館
令和7年春 開館

ウェブサイト

告知

令和4年度鳥取県障がい者芸術・文化作品展
あいサポート・アートとっとり祭

本展	中部巡回展	東部巡回展
会場:米子市美術館 2022年12月3日(土)-11日(日)	会場:倉吉未来中心 2023年1月7日(土)-12日(木)	会場:鳥取県立博物館 2023年1月20日(金)-28日(土)

連携企画

あすなろ高等専修学校 3年生連携企画

(クラーク記念国際高等学校連携校 鳥取キャンパス)

まちなかを高校生と一緒に彩りました! 協力:鶏鳴学園

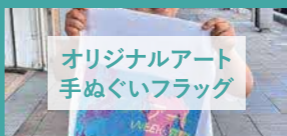
18

10月29日(土)-11月27日(日) 観覧無料

クラーク高校3年生とアートスペースからふるが、WEEKsを盛り上げる制作に取り組みました。商店街の「シャッターアート」、からふる作家との「オリジナルアート手ぬぐいフラッグ」、今回の取り組みをまとめた「WEEKs×クラーク高校新聞」の3つです。ぜひご覧ください。



シャッターアート 旧橋本呉服店(鳥取市職人町36)



オリジナルアート手ぬぐいフラッグ 鳥取市中心市街地商店街



WEEKs×クラーク高校新聞 配布場所:展示会場など

連携企画

ものがたる作品展

みて・感じて・対話して

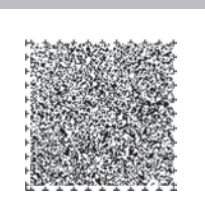
17

主催:鳥取大学地域学部 企画・運営:アートで感じるインクルージョン・ダイバーシティ事務局(野口) am2022tottori@gmail.com

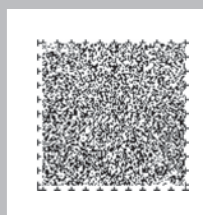
11月3日(木・祝)-11月23日(水・祝)

10:00-18:00 ※金曜日のみ19:00まで 入場無料
ギャラリー鳥たちのいえ 1F(鳥取県鳥取市本町1丁目201)

今年度、鳥取大学地域学部が開講した特別講座「アートで感じるインクルージョン・ダイバーシティ」。事業を通じて制作された作品たちを展示します。



スマホアプリ「Uni-Voice」で読み取ることで、ちらしの情報を音声にてお聞きになれます



スマホアプリ「Uni-Voice」で読み取ることで、ちらしの情報を音声にてお聞きになれます



同時期開催中!

第11回 **鳥取まちゼミ**
11月1日(火)-11月30日(水)

あいサポート・アートとっとり祭

10月29日(土)・30日(日) 10月29日(土)はギャラリーからふる、30日(日)はパードハットで会場の様子を中継します(予定)。

会場:とりぎん文化会館

「“まち”の宝探しスタンプラリー」を開催!

「フクシマアートWEEKs 2022」期間中に会場を巡って6種類のスタンプを集めていただくと、豪華賞品(抽選)をはじめとした景品を参加者全員にプレゼントします。詳しくはホームページ・SNSをご覧ください。